

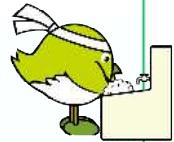
* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第6週 (2月2日~2月8日)



竹田地区では、感染性胃腸炎とインフルエンザB型が流行しています

予防のために、外出後や食事前の手洗いを行い、咳やくしゃみが出る場合はマスクを着用してください。嘔吐物や便の処理を行う際は、手袋を着用し、処理後は十分な手洗いと消毒を行いましょう。体調不良がある場合は無理をせず、早めに医療機関を受診し、登校・出勤を控えましょう。



感染性胃腸炎について

今週の報告数は33名となり、先週の2名から増加しました。

感染性胃腸炎は細菌やウイルスが原因で、下痢や嘔吐、腹痛などの症状が起こる感染症です。冬の時期は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が増加する傾向があります。乳幼児や高齢者では、脱水により重症化しやすいため注意が必要です。

インフルエンザについて

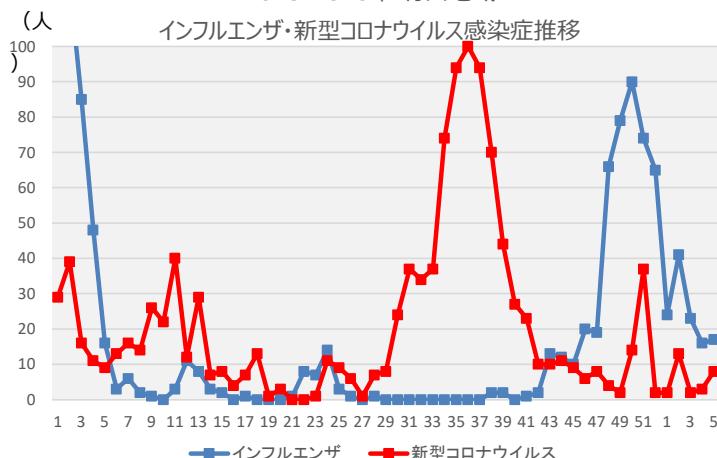
今週の報告数は29人となり、先週の17人と比較し増加しました。型別ではA型が6人、B型が23人と、B型の報告が約8割となっています。豊肥管内の定点あたりの報告数も13.20人と、先週の10.08人から増加し、流行発生注意報レベルとなっています。型別では、B型の割合が95%と多い状況です。大分県全体の定点あたり報告数は69.67名となり、先週の52.48名からさらに増加し、引き続き流行発生警報レベルとなっています。

インフルエンザB型は、通常のインフルエンザの症状に加えて、小児では腹痛、下痢、嘔吐などの消化器症状が出やすいといわれています。

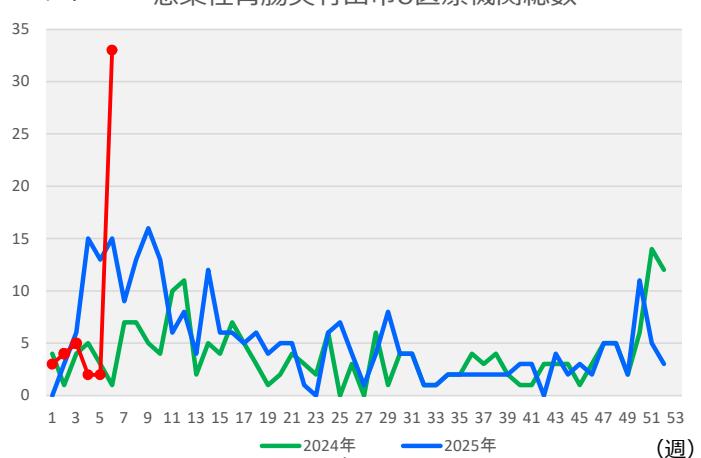
(第6週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(ブル熱)	A群溶血性レンサ球菌炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑病(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風疹(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)	
	A型	B型	不明																	
0歳																				
1~3歳		1							1											
4~6歳	2								6			1								
7~9歳	3								15											
10~14歳	6								8											
15~19歳	1	6																		
20歳以上	5	5		5					3											
今週	6	23			5				33			1								
		29																		
70歳以上 (再掲)				2																
先週	9	8		8					2			2								

2025-2026年 竹田地域



感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこります。



③ 指先・爪の間を念入りにこります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。



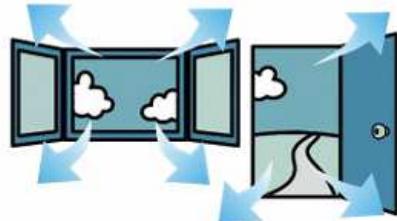
⑦ 石けんを流水で洗い流します。

せき 3つの咳エチケット



口と鼻をしっかり覆いましょう！

こまめな換気



開けがいと、つい窓を入れ替えましょう。寒いときは、空気を閉めつけてしまわないでください。

厚生労働省

健康・生活衛生局
感染症対策部 感染症対策課